

2026年2月4日

## 電通と松竹映像センター、3D 音響技術「audio cube (オーディオ キューブ)」で 没入感が味わえる音声サービスの提供を開始 — 立体的な音響で臨場感あふれる視聴体験を創出 —

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：佐野 傑）は、株式会社松竹映像センター（本社：東京都港区、代表取締役社長：山下 良則）が独自に開発した3D音響技術「audio cube (オーディオ キューブ：特許出願中)」を活用し、新たなスポーツ観戦やエンターテインメント分野において立体的な音声で臨場感あふれる視聴体験を可能にするサービスの提供を本日より開始します。



**dentsu**  
tokyo / osaka / nagoya

本サービスは、音の「位置」「距離」「動き」を自在に表現できる3D音響技術を用い、会場に設置したカメラ映像とマイクで収録した立体音響を、中継または収録配信向けに最適化することで、従来のステレオ音声では再現できなかった「音の空間情報」を忠実に再現します。視聴者側に特別な機材は不要で、ヘッドホンやスピーカーなど一般的な再生環境で音声を楽しむことができます。

2025年10月にバレーボールの試合で行った実証実験※では、「audio cube」の使用により、スパイク音の方向性、ボールの着地音や反響の距離感、選手の移動や攻守の切り替えによる立体音響によって“まるでその場にいるかのような”没入感を体験できることが実証され、ステレオ音声との違いが明らかになりました。

当社は今後も、スポーツ中継にとどまらず、舞台芸術、ライブイベント、教育、地域体験コンテンツといった幅広い領域での立体音響を活用した新たな体験の創出に努めることで、エンターテインメントの価値向上に貢献していきます。

※ 実証実験の様子：ステレオ音声と「audio cube」の違い（フルバージョンは[こちら](#)）。



以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通コーポレートワン ブランディングオフィス 広報室 広報部  
河南、早川、永野

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 関西ラジオテレビ&コンテンツビジネス局  
西川、今野

Email : [koho@dentsu.co.jp](mailto:koho@dentsu.co.jp)